

(様式 3 : 全対象事業共通)

平成 30 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	檜葉町笑ふるタウンならば災害公営住宅再エネ設備導入 F S 調査	
補助事業者名	福島県檜葉町	
補助事業の概要	「檜葉町エネルギービジョン (H30.3 策定)」を基に、省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの導入・活用、地域振興に努め、地域住民の理解を進めながら多様なエネルギー構造の実現を図るとともに、持続可能な「新生ならば」の実現を目的に、「笑ふるタウンならば」等に整備した災害公営住宅への太陽光発電設備・蓄電池設備の導入規模ならびにエネルギーマネジメント (電力供給、電力需給監理等) に関する検討を行った。	
総事業費	11,167,200 円	
補助金充当額	11,167,200 円	
定量的目標	<ul style="list-style-type: none"> ・電力自給率を 45% 以上 (太陽光発電と蓄電池の高効率な活用) ・系統電力停電時に 12 時間以上の電力バックアップ (蓄電池の活用) 	
補助事業の成果及び評価 (事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど)	本事業により、設備導入規模や導入後のマネジメントについて検討がなされ、掲げた定量目標の達成に向け、設備導入を進めていく。	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 (※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)	契約 (間接補助) の目的	外注
	契約の方法	プロポーザル方式
	契約の相手方 (間接補助先)	UR リンケージ・NTT ファシリティーズ 共同企業体
	契約金額 (間接補助金額)	11,167,200 円
来年度以降の事業見通し	本事業による検討を基に、令和元年度に設備導入、令和 2 年度にエネルギーマネジメントの運用を開始することを予定している。	

(備考)

- (1) 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- (2) 補助事業の成果及び評価の欄には、(1) で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- (3) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- (4) 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。